

# 社会貢献を目指す AED (自動対外式除細動器) 寄贈プラン



全国オートバイ協同組合連合会と株式会社健正社 + 大手飲料メーカーは社会貢献を目的としたAED自動体外式除細動器普及を応援します。

組合員向け 特別プラン AED (自動対外式除細動器) 機器一式を寄贈します。  
今回安心プラン付き 消耗品交換時無償提供もさせていただきます。  
(無償提供範囲を超える物は有償となります。)



条件として 自動販売機を導入検討していただきます。(ドリンクマージンも出ます。)  
自動販売機を導入に際しての条件は大手飲料メーカーによる審査が必要です。  
審査区域は国内とします。  
飲料メーカーは指定です。同メーカーを既に導入されている場合はお断りする事もあります。

**実績：大阪オートバイ事業協同組合に事務所にAED導入済み**

## 最近の事例

富山消防署は5日、的確な心肺蘇生(そせい)法とAED(自動体外式除細動器)を用いて人命救助に当たった富山市興南中学校へ感謝状を贈った。興南中学校の体育大会が行われた9月5日、昼食時に生徒の祖母がけいれんし、心肺停止状態となった。学校から同署へ連絡後、各教諭が中心となり、AEDの操作や人工呼吸、心臓マッサージなどを続けた。女性は市内の病院へ運ばれ、現在、退院を間近に控えている。

救命リレー 4人に感謝状

直方市の遠賀川河川敷で倒れた傷病者は、心肺停止状態になった。同市職員は適切な応急措置をしたとして、市消防本部は5日、救助した4人に感謝状を贈った。傷病者はその後意識が回復し、今日1日に職場に復帰した。

教諭、機転の蘇生法4分...大阪

大阪市中央区の市営地下鉄淀屋橋駅で9月、60歳代の男性が階段で転倒し、意識を失った。そこに心肺蘇生(そせい)法を学んだ小学校教諭が通りかかった。教諭は約4分間、胸骨圧迫(心臓マッサージ)を行い、救急隊の到着前に男性をよみがえらせた。元看護師の女性(30)と通行の男性教諭らが駅員に119番を要請。元看護師が男性にAED(自動体外式除細動器)のパッドを張ったが、電気ショックの利かない状態だった。「心臓マッサージが必要」。AEDの音声指示通りに、阿野さんは1分間に約100回のペースで、男性の胸を強く押し続けた。AEDの音声に従う事で救命ができた。約4分後、最初は全く動かなかった男性の脈が戻った。救急隊が着いた時、男性の意識ははっきりしていたという。感謝と無事退院できたことを伝える手紙が届いた。



## お問い合わせ

協力 AED寄贈 元気プロジェクト(株式会社健正社)  
〒536-0008 大阪市城東区関目一丁目8番12号  
TEL(06)6939-3666  
FAX(06)6939-3668

全国オートバイ協同組合連合会  
〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-5  
TEL(03)-3568-6887  
FAX(03)-5545-9548

組合員 名		
住所	〒	
TEL FAX	TEL	FAX
担当名(役職)		
備考		

\*メールでのお問い合わせは、shima@byoinad.co.jp 健正社(担当 島)ご連絡 返信下さい。

心臓突然死は、いつでも誰にでも起こります。日本国内での心臓突然死は年間約5万人。そのほぼ半数は健康な人として生活し、心臓の異常は指摘されていないと言われます。この突如襲う心臓突然死から身を守る唯一の方法、それが電気ショック:すなわちAEDの使用です。助かるチャンスは、1分経過するごとに約10%ずつ失われます。発作を起こした最初の数分間にAEDを使用すること、それが命を救うには必要なのです。